

学力アップを実現する算数指導のあり方とは

教材「アイテム」で子どもの意欲と力を伸ばす



協働しながら問題に取り組む子どもたち

東員町立神田小学校 均等部1、3年生以上は、コース別、数多岐の問題に取り組み発展的な課題にもチャレンジしている。

教材の位置づけを明確化して活用。東員町立神田小学校 均等部1、3年生以上は、コース別、数多岐の問題に取り組み発展的な課題にもチャレンジしている。

三重県・東員町立神田小学校

学び合いを大切にしている少人数指導

学習内容の定着を「アイテム」で。教材の位置づけを明確化して活用。東員町立神田小学校 均等部1、3年生以上は、コース別、数多岐の問題に取り組み発展的な課題にもチャレンジしている。



分数のたし算・引き算の学習のまとめにチャレンジ問題に取り組んだ

右の図で、たて、横、ななめのどの方向の3つの数の和も等しくなるようにします。⑤、⑥、⑦にあてはまる分数を求めなさい。

Table with 3 rows and 3 columns of numbers and fractions. Row 1: 1/6, 3/4, ⑤. Row 2: ⑥, 5/12, 1/4. Row 3: 1/2, 1/12, ⑦.

特設の時間で、一斉に取り組む。府中町立府中北小学校 尾久葉則子校長は、教員が活用する教材の充実を重視している。

広島県・府中町立府中北小学校

指導の刷新で学力向上果たす

学校共通教材に「アイテム」を採用。指導の刷新で学力向上果たす。学校共通教材に「アイテム」を採用。

良問が届ける「考える楽しさ」。子どもたちの算数の学力アップには、少人数編成など指導体制の整備と並んで、良質な教材選びが重要だ。

教材の特徴と活用法を全校で共有。中村教諭は「アイテム」について、各自の力を最大限に発揮できるように指導している。

授業外の場でも学び合う姿勢が。この日は、6年生の「比」の授業が行われた。

「使い手」の指導力向上も重要

「使い手」の指導力向上も重要。尾久葉校長は、「アイテム」のような良質な教材でも、与えるだけでは子どもは伸びない。

得意な子どもがさらに伸びる授業へ。質の高い問題で活用育成。伊達市立伊達小学校 菅野景子教諭の1年生のクラスでは、「挑戦しよう」はできる子どもがチャレンジする課題とし、それ以外の問題を授業や宿題で扱っている。

質の高い問題で活用育成。伊達市立伊達小学校 菅野景子教諭の1年生のクラスでは、「挑戦しよう」はできる子どもがチャレンジする課題とし、それ以外の問題を授業や宿題で扱っている。

言語活動の題材にも。持無沙汰になりがちなたま、活用を伸ばす発展的な問題が必要と判断。以前利用していた「アイテム」を、今年度再び全学年で採用することにした。

「わかる喜び」「考える楽しさ」を育む。『アイテム』算数は、「先生にとっても、子どもたちにとっても使いやすい問題集を作ろう!」をコンセプトに、筑波大学附属小学校・算数研究部の先生方からアイデアを結集させて作られた。

「わかる喜び」「考える楽しさ」を育む。『アイテム』算数は、「先生にとっても、子どもたちにとっても使いやすい問題集を作ろう!」をコンセプトに、筑波大学附属小学校・算数研究部の先生方からアイデアを結集させて作られた。

「わかる喜び」「考える楽しさ」を育む。『アイテム』算数は、「先生にとっても、子どもたちにとっても使いやすい問題集を作ろう!」をコンセプトに、筑波大学附属小学校・算数研究部の先生方からアイデアを結集させて作られた。

「わかる喜び」「考える楽しさ」を育む。『アイテム』算数は、「先生にとっても、子どもたちにとっても使いやすい問題集を作ろう!」をコンセプトに、筑波大学附属小学校・算数研究部の先生方からアイデアを結集させて作られた。

「わかる喜び」「考える楽しさ」を育む。『アイテム』算数は、「先生にとっても、子どもたちにとっても使いやすい問題集を作ろう!」をコンセプトに、筑波大学附属小学校・算数研究部の先生方からアイデアを結集させて作られた。

「わかる喜び」「考える楽しさ」を育む。『アイテム』算数は、「先生にとっても、子どもたちにとっても使いやすい問題集を作ろう!」をコンセプトに、筑波大学附属小学校・算数研究部の先生方からアイデアを結集させて作られた。

「わかる喜び」「考える楽しさ」を育む。『アイテム』算数は、「先生にとっても、子どもたちにとっても使いやすい問題集を作ろう!」をコンセプトに、筑波大学附属小学校・算数研究部の先生方からアイデアを結集させて作られた。

「わかる喜び」「考える楽しさ」を育む。『アイテム』算数は、「先生にとっても、子どもたちにとっても使いやすい問題集を作ろう!」をコンセプトに、筑波大学附属小学校・算数研究部の先生方からアイデアを結集させて作られた。

「わかる喜び」「考える楽しさ」を育む。『アイテム』算数は、「先生にとっても、子どもたちにとっても使いやすい問題集を作ろう!」をコンセプトに、筑波大学附属小学校・算数研究部の先生方からアイデアを結集させて作られた。

「わかる喜び」「考える楽しさ」を育む。『アイテム』算数は、「先生にとっても、子どもたちにとっても使いやすい問題集を作ろう!」をコンセプトに、筑波大学附属小学校・算数研究部の先生方からアイデアを結集させて作られた。

「わかる喜び」「考える楽しさ」を育む。『アイテム』算数は、「先生にとっても、子どもたちにとっても使いやすい問題集を作ろう!」をコンセプトに、筑波大学附属小学校・算数研究部の先生方からアイデアを結集させて作られた。

「わかる喜び」「考える楽しさ」を育む。『アイテム』算数は、「先生にとっても、子どもたちにとっても使いやすい問題集を作ろう!」をコンセプトに、筑波大学附属小学校・算数研究部の先生方からアイデアを結集させて作られた。

「わかる喜び」「考える楽しさ」を育む。『アイテム』算数は、「先生にとっても、子どもたちにとっても使いやすい問題集を作ろう!」をコンセプトに、筑波大学附属小学校・算数研究部の先生方からアイデアを結集させて作られた。

「わかる喜び」「考える楽しさ」を育む。『アイテム』算数は、「先生にとっても、子どもたちにとっても使いやすい問題集を作ろう!」をコンセプトに、筑波大学附属小学校・算数研究部の先生方からアイデアを結集させて作られた。

「わかる喜び」「考える楽しさ」を育む。『アイテム』算数は、「先生にとっても、子どもたちにとっても使いやすい問題集を作ろう!」をコンセプトに、筑波大学附属小学校・算数研究部の先生方からアイデアを結集させて作られた。

「わかる喜び」「考える楽しさ」を育む。『アイテム』算数は、「先生にとっても、子どもたちにとっても使いやすい問題集を作ろう!」をコンセプトに、筑波大学附属小学校・算数研究部の先生方からアイデアを結集させて作られた。

「わかる喜び」「考える楽しさ」を育む。『アイテム』算数は、「先生にとっても、子どもたちにとっても使いやすい問題集を作ろう!」をコンセプトに、筑波大学附属小学校・算数研究部の先生方からアイデアを結集させて作られた。

「わかる喜び」「考える楽しさ」を育む。『アイテム』算数は、「先生にとっても、子どもたちにとっても使いやすい問題集を作ろう!」をコンセプトに、筑波大学附属小学校・算数研究部の先生方からアイデアを結集させて作られた。

アイテム 使い方! 筑波大学附属小学校・算数研究部. [アイテム]は学習領域ごとに各学年の内容を整理してつくりました。学習内容の系統性が分かりやすいという点は、子どもたちにとって学習がしやすい、新たな学習内容でも見通しをもって取り組むことができて、また、学習したことを振り返るときにもとても有効です。

算数を面白いと感じる子どもを増やす。『アイテム』には、すぐにでも算数の活動が展開できる授業実践を、各領域について「授業でわかる!」と題し紙上で再現しています。「算数って面白い!」と感じる子どもを増やすことにつながればと思っています。

活用する力を身につける。『アイテム』では、各単元において習得・活用・要求にあわせて構成されています。習得では小刻みに使えるようにページを2分割、活用探究では、面白い内容を選択し、知的好奇心を満たす工夫を凝らしています。

難問にも挑戦して学びを豊かに。学んだことを様々な問題場面で活用することで、より深い理解を得ることができます。また、他の学習内容と関連付けることで、新しい知識や技能を獲得していくときに生きて働く力になります。少し難しい問題でも挑戦することで、学びがより豊かになっていくでしょう。

家でも学校でも算数の力を伸ばす。『アイテム』は計算ドリルも充実しています。単元の初めは書き込み可能なゆとりドリルで、単元の後半は問題集を重視したきつちドリルです。ホームワークマークがついている問題は、自主学習や家庭学習用に考えたもので、家でも使ってもらえればと思っています。

「わかる喜び」「考える楽しさ」を育む。『アイテム』算数は、「先生にとっても、子どもたちにとっても使いやすい問題集を作ろう!」をコンセプトに、筑波大学附属小学校・算数研究部の先生方からアイデアを結集させて作られた。『アイテム』算数1~6年 対応 筑波大学附属小学校・算数研究部/著

ご審査用見本をご請求ください! FAX 03-3304-5316 TEL 03-3304-5010 http://www.next-edu.or.jp